

東日本大震災復興支援 市民公開シンポジウム ～福島原発事故後の安心・安全なきのこ生産の現状～

2011年3月11日の東日本大震災と、これに伴う福島第一原発事故によるきのこ生産者や種菌メーカーの被害状況の把握と、きのこの放射能汚染の風評被害と実態と対応策を検討するため2011年9月に東日本大震災対策委員会が設置され、「福島原発事故による放射性物質の汚染を回避したきのこの生産方法を探る」をテーマに2012年9月に市民公開シンポジウム（東京農業大学）を開催し、多くの方々にご参加頂きました。

震災より4年を経過した現在、様々な除染栽培法が検討され、基準値より遥かに低い値の安心・安全なきのこが生産され、出荷されています。にもかかわらず、未だに風評被害は止まず、きのこの消費低迷が続いています。

東日本大震災復興対策委員会では、きのこ生産者や種菌メーカーの皆さんへ学会としての復興支援方法を諮りましたところ、安全・安心して食することができるように生産、出荷されているきのこが信頼できることを科学的知見に基づいて多くの方々に知って頂くことが、最も有効な支援策であるとの結論に至り、「福島原発事故後の安心・安全なきのこ生産の現状」としてシンポジウムを開催いたします。

入場無料の市民公開シンポジウムです。是非とも多くの方をお誘いのうえ、ご参集くださりますよう、お願い申し上げます。

日時：平成27年11月14日（土）、午後2時～5時

場所：東京農業大学世田谷キャンパス

共催：東京農業大学総合研究所きのこ研究会

※入場無料 【申し込み不要】

座長：増野和彦氏（長野県林業総合センター）、明間民央氏（(国研) 森林総研）

講演者

- ・ 大橋洋二（栃木県林業センター）
- ・ 坂田春生（群馬県林業試験場）
- ・ 根田 仁（(国研) 森林総研）
- ・ 武井利之（福島県農業振興課）
- ・ 古川成治（福島県林業振興課）
- ・ 江口文陽（東京農業大学）

パネルディスカッション

コーディネーター：白坂憲章

パネラー：講演者

主催：日本きのこ学会 東日本大震災復興対策委員会

委員長：高島幸司

委員：白坂憲章、増野和彦、根田 仁、明間民央、江口文陽